

2015年6月議会が開催されました。日本共産党町会議員団の見解をお知らせします

しまもとプレミアム商品券 販売方法に混乱と不信感

・・・国の「地方創生」バラマキ施策の結果・・・
議員の指摘を軽視したことへの猛省を求めます

商品券の販売方法について、多くの町民から疑問や批判の声が寄せられています。「初日に、整理券方式でするなど聞いていない」「チラシには今日も販売すると書いてある」「不公平すぎる、税金を使った詐欺だ」等々。

2回目の販売時には、深夜（午前1時ごろ）から並ぶ人もいたとか。当日、警備員2人で会場整理に当たったが、買えずに引き返す車で2時間以上も周辺道路が渋滞する事態も発生しました。

この件について、6月議会の議案審査で河野恵子議員は「買える人と買えない人との不公平が発生する」「一世帯5万円を上限といってもどのように確認するのか。できないのでは?」「即売り切れになった他自治体の例を確認して」などを指摘しましたが、町はすべてを「無視」し、事実上商工会に丸投げ（委託）で実施しました。

消費税増税で消費を冷え込ませ国民の生活を圧迫する一方で、国民の税金をこのような方法で使うことは、一時的に町内の消費が増えるかもしれませんが、国民の生活向上につながるのか大いに疑問です。

販売方法だけでなく、税金の使い方そのものを、今後もしっかり検証したいと思います。

☆よりよい島本町をめざし、さらにご意見をお寄せください☆

島本民報

2015年8・9月号外
日本共産党高槻・島本地区委員会 072-685-6661

島本町会議員

かわの恵子



水無瀬2-3-3-506

電話 962-1708

blog「歌いながらこの道を行こう」

メール:k-kawano@tcn.zaq.ne.jp

島本町会議員

佐藤かずこ



若山台1-2-48

電話 962-6103

blog「大すき島本」

メール:satokiki0815@yahoo.co.

戦争法案 強行採決許さない!

参議院でさらに問題点が明らかに

日本共産党

「武器・弾薬、戦車・ミサイルを運ぶ」

本法案では、戦闘作戦行動発進準備の戦闘機の整備や給油もやろうというものです。政府の言う「自衛隊の後方支援」は、国際的には「兵たん」にあたり、米軍の作戦のもと、戦闘行為の効果を最大限発揮するための役割をもつことになります。

「後方支援」は交戦国からの攻撃の対象になること、さらに安部政権の示す「武器の使用」も海上自衛隊文書などから国際的にも「武力行使」にほかならない、ことなどが参議院での追及であきらかになっています。

参議院に府民の
声を届けます



日本共産党大阪
青年学生委員会責任者

わたなべ結

米軍の「先制攻撃」や
「対テロ戦争」と一体に

さらに、2014年1~2月にかけて行われた、50km×70km四方の砂漠地帯、モスクなどの建物など想定した自衛隊と米陸軍との合同軍事演習の中身が、党参議院議員の質疑であきらかになりました。仮に法案が成立すれば、アフガン戦争にアメリカの要請で、自衛隊がでかけていくことも十分想定されます。

テロは絶対に許せない行為です。一方アフガン戦争は、アメリカは個別的自衛権の発動、NATOは集団的自衛権の名のもとで続けている戦争であり、開戦から15年間、民間人を犠牲にし、憎しみの連鎖と新たなテロを生み、未だ戦乱も収まっています。この法案が直面する最大の危機が、ここにあります。

日本共産党島本のホームページをぜひご覧ください。 [日本共産党しまもとカクサン部](#) で検索を。

島本・高槻全駅で「戦争法案」反対共同行動

超党派議員と市民有志で作られた「戦争させない!高槻・島本実行委員会」は統一行動として、7月31日夕方、島本・高槻内にある全7駅で「戦争法案」反対の宣伝・署名行動を取り組まれました。

これには300人が参加。ピラの受け取り2500人、450筆の署名が集まりました。

この行動は、7月4日の600人が雨の中参加した集会・パレードにつづくもので、次回は9月5日、JR高槻駅前宣伝、市役所前集会の後パレードを予定しています。

島本・高槻から「戦争法案」を廃案に追い込むまでがんばりましょう。

